

## 総合的な学習の時間学習指導案

指導者 嶋津 颯

1 日時 令和4年10月6日(木) 14:05~14:50

2 学年 芸北小学校 第5学年 8名

3 単元名 協力して活動しよう ~せどやま教室~

4 単元について

### <単元観>

背戸山(せどやま)とは民家の裏手にある山を指す用語である。芸北地域における聞き取りによると、1960年代頃まで、使役牛馬の飼料、屋根葺きのカヤ材、また堆肥原料としての草や、燃料としての薪など、生活に必要な資源を得る場として背戸山が利用されてきた。これら主産物以外にも、山菜、薬草、仏花など、日常生活や行事、文化活動に必要な資源を背戸山が供給していた。さらに、樹木の伐採により日照が確保されるので、家屋が乾燥し、茅葺き屋根を良好に維持することができた。人が常に利用することで生態系が維持され、そのことによって、さらに多くの便益を得られるような陸上生態系は、里山と呼ばれ、国際的にも“Satoyama”と呼称されることがある(IPSI事務局 2013)。

しかし、灯油や電気ストーブが使われるようになったり、街のスーパーで買い物をするようになったりしてきた近年では、昔に比べて、せどやまの木が使われることが少なくなり、手入れもなかなか行き届かない状況がある。そんな「せどやま」を再び有効活用するための仕組みづくりが「せどやま再生事業」である。

具体的には以下の通りである。せどやまの木を搬出した地域住民に、森林整備の対価として「せどやま券(地域通貨)」が支払われる。木を実勢価格より高く買い入れることで、木材の有効利用と、山仕事の復権を目指す。さらに、その対価を芸北地域でしか利用できない地域通貨「せどやま券」で支払うことで地域の活性化を図る。1tの木材の切り出しに対して6,000円分の「せどやま券」が支払われる。この事業は、以下の3つの「E」に関する問題を解決できる可能性をもっている。1つめは「Ecology」。山を手入れすることで、美しい景観と芸北の生物多様性を守ること。2つめは「Economy」。地域通貨「せどやま券」によってこの芸北地域内で買い物をする人を増やし、地域の経済を活性化させること。3つめは「Energy」。灯油やガソリン、電気などに頼りすぎることなく、地域の中でエネルギーを生み出し活用することである。

この仕組みがスタートした平成25年から、この事業を手掛ける「せどやま再生会議」の全面バックアップにより、総合的な学習の時間の単元として取り扱っている。

「せどやま教室」の概要は以下のとおりである。

運ぶ木の重さの目標は児童が定める。事前に大人がある程度切り倒しておいた木を、児童は協力して運び出し、トラックに積んでいく。1t運び出すと6,000円分の「せどやま券」を手に入れることができる。安全・安心を確保するために必要な知識を得た上で、児童は自分たちで活動への見通しをもち、それを実践していく。児童の主体的な活動を促すため、大人は危険を回避させるための声かけ以外は、基本的に指示やアドバイスをすることなく「見守りのスタンス」を貫く。

本単元の特徴は、児童が「エンゲージメント状態」の中で活動できるプログラムであることにある。エンゲージメントとは、楽しさなどのポジティブな感情を感じつつ気持ちを集中させ、注意を課題に向け、持続的に努力するような「熱中」した心理状態を意味しており、「人は特にその活動に興味や価値を感じている場合に自ずとエンゲージメント状態になる」(鹿毛,2012)ことが明らかとなっている。慶應義塾大学鹿毛雅治教授は、この心の

「エンゲージメント(engagement)」の状態が、学習者のパフォーマンスの質を高めると述べており、学習者がエンゲージメント状態になるような場をどのように作り出すのかは、学習の質を高める上でたいへん重要なファクターとなる。「せどやま教室」が従来の体験型学習活動と大きく異なる点は、自分たちの活動パフォーマンスが数字(運び出した量)として表れる点、さらに、それが「せどやま券」という形で学習者に還元される点にある。この2つの要素によって、児童はエンゲージメント状態の中、重い丸太を運び出す等、協力が不可欠な活動に仲間とともに取り組む中で、「協働」することについてより深く学ぶことができると考えている。

また、せどやま再生事業のもつ3つの「E」に関する問題を解決できる可能性について併せて考える中で、これまで持ち合わせていた森林保護の観点や、森林は資源であるという見方を深めることも期待できる。そして、そうした視野の広げ方を体感することが、児童の多面的・多角的な見方・考え方の広がりにつながっていくと考えている。

### <児童観>

～省略～

### <指導観>

単元の目標達成及び資質・能力向上のため、以下の手立てをもって指導する。

#### ① 「えがく」の時間において

本単元では「協働する力」「安全・安心をつくる力」「課題解決力」「意志力」を中心に上げ、「めざす自分」を設定させる。1節は、せどやま教室がどのような活動なのかイメージをもつための試しの体験として位置付ける。そのため1節の「めざす自分」は、これまで上学年から聞いた話や、昨年度の活動の写真等から児童のもっている活動のイメージを基に設定させる。2節、3節では、前回の活動で見つけた自分の「課題」と本単元で育てたい資質・能力とを関連付けて「めざす自分」を具体的に設定させる。自分の考えた「課題」と「めざす自分」が合っているか、妨げに対する作戦が合っているか等、話し合いの視点を与えてグループで交流させることで、より具体的にえがくことができると考える。その上で、「妨げ」に対する「具体的な手立て」を、活動のどの場面に反映させるのか活動スケジュールに印をつけ、明確にしていく。

#### ② 「やってみる」の時間において

単元を通して、全部で3回の木の運び出しを行う。1回目は「試しの体験」と位置付ける。経験不足から、思いえがいたように動くことができないと思われるが、この失敗体験を学習のスタートとして位置付ける。その上で、何が課題で、どう解決していくべきかについて自分達で考えながら、徐々に成功へと近づいていく道筋をつけていく。

ゲストティーチャーとしてせどやま会議のメンバーの方、授業サポートとして保護者の方々に活動に加わっていただく。活動中に出てきた疑問を児童から質問して解決する等、児童が主体となって自分の課題や、活動の改善点に気付き、解決できるようにするために、安全面のこと以外は積極的にアドバイスしないよう、お願いしておく。

活動は2グループで行い、意見を言ったり行動したりすることに積極的な児童のグループと消極的な児童のグループに分ける。一回目の活動を通して、自分の意見を主張してばかりでも誰かがやってくれるのを待つばかりでも活動がうまく進まないことに気づかせ、グループの一員としてどう行動すれば良いかを考えさせる。そして、考えたことを次の活動で実践させることで協働する力を高めていく。

木の運び出し活動の後、手に入れた「せどやま券」を実際に使ってみるという活動も取り入れ、次節の木の運び出し活動へのモチベーションを高めていきたい。

### ③ 「ふり返る」の時間において

より深い振り返りができるようにするために、活動終了後すぐに、「くやしい」「もっとこうすれば・・・」等のあふれる思いをひたすら書く時間をとる。その振り返りと、活動中に指導者が記録した児童の言動を基に、全体交流の授業を構成する。

また、自分達が活動する姿をより客観的に捉えることができるようにするために、写真を活用したり、グループで話し合わせたりする。自分のことを過大評価することが考えられる児童も、自分が上手く活動できていない写真を見ることが、グループの友達に客観的な意見をもらうことでメタ認知ができるようにしたい。その際、明らかとなった「できたこと」と「できなかったこと」は、課題解決のプロセスにおいては等価なものであるということを押さえておく。さらに、例えば「はじめは〇〇をして失敗したけど、おかげで〇〇に気が付いた」など、過去の失敗経験が成功に結びついていることを児童に自覚させることも大切にしたい。

4節では、協働することのよさや多面的・多角的なものの見方・考え方、自ら安全・安心をつくり出すことの大切さ等、ここでの学びを日常生活にどう活かしていくのかについて具体的に考えさせていきたい。

### ④ 安全面における指導の工夫

「やってみる」では、大きな木を運び出すこと、のこぎり等の刃物を扱うことなど、リスクを伴う活動がある。ゆえに、事前に危険を予測し、その回避方法を理解させた上で体験活動に臨ませたい。また体験の中で実感する危険については、その都度、「どうしたら良いか」「どうすれば良かったのか」を考えさせることも重要であると考えている。それがなぜ危険なのか、どうすれば安全を確保できるのかについて、理由付けをしっかりとさせながら、より深く学ばせたい。

本プログラムは、「せどやま再生会議」が、せどやまの手配、伐木、トラックの手配、せどやま券の発行を手掛け、小学校は、児童の指導を行っていくものである。しかしながら、せどやま再生会議のメンバーや学校職員だけでは、本学習を安全に実施するには不十分である。リスクを伴う活動であるため、ある程度の人数の「大人の目」が必要となる。そこで、PTAを通し保護者に活動の意義を説明して、「保護者サポート隊」を募り、ボランティアで活動の支援をしていただくしくみを整えている。

### ⑤ 児童自らが探究する授業にするための工夫

昨年度まで、1回目の活動は6年生とともに行き、6年生の姿から効率の良い木の運び方を学ばせていた。しかし、今年度は1回目から5年生だけで活動することで、敢えてたくさん失敗をさせる。それに加え、活動中の「知恵袋タイム」(児童が大人に質問し、アドバイスをもらう時間)も設定しないこととする。また、せどやま再生事業の目的や仕組みについても単元の初めに指導しないこととする。このように初めから指導者が設定した枠組みの中で学ばせるのではなく、目標に向かって活動する中で児童が自ら課題を発見し、その課題を自分たちが考えた方法で解決させることで、児童自らが探究する授業にしていきたい。

## 5 単元の目標

自分たちが設定した目標に向けて、協働して効率よく安全に木を運ぶための方法を考え、提案し、実行することを通して、探究的な学習の過程に沿って粘り強く課題を解決するとともに、他者と協力するために大切なことや「せどやま再生事業」について理解し、今後の学習や生活に生かすことができるようにする。

## 6 単元の評価規準とルーブリック

### (1) 評価規準【身に付けさせたい資質・能力】

| 知識・技能<br>【協働する力, 安全・安心をつくる力】   | 思考・判断・表現<br>【課題解決力】   | 主体的に学習に取り組む態度<br>【意志力】                                       |
|--|---|--|
| <p>① 学級で設定した目標に向けての自分の役割を理解し、自分の役割を最後までやり切っている。【協】</p> <p>② 木を切ったり運び出したりする際の危険を予測し、安全に活動することができている。【安】</p> | <p>① 目標達成に向けての課題や自分が設定した課題について、探究的な学習の過程（①課題の設定, ②情報の収集, ③整理・分析, ④まとめ・表現）を適用させながら、解決している。</p> | <p>① 「めざす自分」や学習のめあてを達成するために、よいと思った具体的な行動を選択し、実行しようとしている。</p> |

### (2) ルーブリック

| 資質・能力         | 1  | 2  | 3  |
|---------------|--|--|--|
| 知識・技能         | ① 学級で設定した目標に向けての自分の役割が分からず、人に言われるまで行動することができない。                                    | 学級で設定した目標に向けての自分の役割を理解し、自分の役割を最後までやり切っている。                   | 学級で設定した目標に向けての自分の役割を理解し、お互いを認め合いながら、自分の役割を最後までやり切っている。   |
|               | ② 木を切ったり運び出したりする際の危険を十分予測できず、危険な場面がある。   | 木を切ったり運び出したりする際の危険を予測し、安全に活動することができている。                      | 木を切ったり運び出したりする際の危険を予測し、他者に声かけをしながら安全に活動することができている。       |
| 思考・判断・表現      | ① 目標達成に向けての課題や自分が設定した課題の解決に向けて、探究的な学習の過程のうち0～1つを適用させて、取り組んでいる。                     | 目標達成に向けての課題や自分が設定した課題の解決に向けて、探究的な学習の過程のうち2～3つを適用させて、取り組んでいる。 | 目標達成に向けての課題や自分が設定した課題について、探究的な学習の過程を全て適用させて、解決している。      |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ① 「めざす自分」やそれを達成するために選択した具体的な行動が自分に合っていない、または「めざす自分」を達成するために選択した具体的な行動を実行しようとしていない。 | 「めざす自分」や学習のめあてを達成するために、よいと思った具体的な行動を選択し、実行しようとしている。          | 「めざす自分」や学習のめあてを達成するために、試行錯誤しながらより良い方法を選び、粘り強く実行しようとしている。 |

7 単元の指導と評価の計画（本時7／30時間）

| 節               |      | 時         | 学習活動  | 知      | 思 | 態          | 評価方法                    |
|-----------------|------|-----------|---|--------|---|------------|-------------------------|
| 1<br>ためしにやってみよう | えがく  | 1         | 1 せどやま教室でどんな活動をするのか、もっている知識を出し合う。<br>2 何のために活動するのか、この活動を通してどんな力が付くのか話し合う。<br>3 昨年度の5年生の活動結果を参考にして、単元を通してのクラス目標を決める。<br>4 1節で「めざす自分」を設定する。<br>① 「めざす自分」を設定する。<br>② 「妨げ」を予想する。<br>③ 「妨げ」を乗り越えるための作戦を考える。<br>④ グループで共有する。<br>5 安全な活動の仕方を知る。<br>6 本時の振り返りをする。 |        |   | ①          | ・発言<br>・ワークシート<br>・振り返り |
|                 |      | 2<br>5    | 1 本時のねらいを確認する。（丸太の切り出し）<br>2 道具の使い方や安全な活動の仕方について確認する。（GT）<br>3 グループごとに活動を行う。（困ったことがあったら、周りの大人に質問する）<br>4 せどやま市場へ行き、計量後せどやま券を貰う。<br>5 帰校後振り返りを書く。  | ①<br>② |   | ・発言<br>・行動 |                         |
|                 | ふり返る | 6         | 1 本時のねらいを確認する。<br>2 写真や映像をもとに、活動を客観的に振り返る。<br>3 「めざす自分」及び活動計画に照らし合わせて自己を振り返り、自分の課題を見つける。<br>4 本時のまとめをし、次時への見通しをもつ。  |        |   | ①          | ・発言<br>・ワークシート<br>・振り返り |
|                 |      | 7<br>（本時） | 1 本時のねらいを確認する。<br>2 1回目の活動の振り返りの中から、めあての達成につながりそうなことを発表し合う。<br>3 班で作戦を立てる。<br>4 決めた作戦を学級で共有する。<br>5 振り返りをし、次時への見通しをもつ。  |        |   | ①          | ・ワークシート<br>・行動観察        |
|                 |      | 8         | 1 本時のねらいを確認する。<br>2 せどやま券を使用し、せどやま再生事業への関心・意欲を高める。<br>3 せど山再生事業について問いを出し合い答えを予想する。  |        | ① | ①          | ・発言<br>・ワークシート<br>・振り返り |

|                       |       |             |  |        |   |   |  |
|-----------------------|-------|-------------|--|--------|---|---|--|
| 2<br>一回目よりたくさん木を切り出そう | えがく   | 1           | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本節の内容及びねらいを確認する。(1節よりも多くの丸太を切り出す)</li> <li>2 2節の「めざす自分」を設定する。 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 1回目の振り返りから「めざす自分」を設定する。</li> <li>② 「妨げ」を予想する。</li> <li>③ 「妨げ」を乗り越えるための作戦を考える。</li> <li>④ グループで共有し、アドバイスを出し合った後修正する。</li> </ol> </li> <li>3 活動をするグループで作戦を立てる。(例) 声を掛け合って運ぶ、6年生に教わる 等</li> </ol> |        | ① | ① | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動</li> <li>・発言</li> <li>・ワークシート</li> <li>・振り返り</li> </ul> |
|                       | やってみる | 2<br>3<br>6 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本時のねらいを確認する。(丸太の切り出し)</li> <li>2 道具の使い方や安全な活動の仕方について確認する。(GT)</li> <li>3 グループごとに活動を行う。(困ったことがあったら、周りの大人に質問する)</li> <li>4 せどやま市場へ行き、計量後せどやま券を貰う。</li> <li>5 帰校後振り返りを書く。</li> </ol>   | ①<br>② |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・発言</li> <li>・行動</li> </ul>                                 |
|                       | ふり返る  | 7           | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本時のねらいを確認する。</li> <li>2 写真や映像をもとに、活動を客観的に振り返る。</li> <li>3 「めざす自分」及び活動計画に照らし合わせて自己を振り返る。</li> <li>4 交流し、グループで活動の振り返りをする。</li> <li>5 本時のまとめをし、次時への見通しをもつ。</li> </ol>  |        | ① |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動</li> <li>・発言</li> <li>・ワークシート</li> <li>・振り返り</li> </ul> |
| 3<br>最高記録をめざそう        | えがく   | 1<br>2      | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本節の内容及びねらいを確認する。</li> <li>2 本時(えがく)のねらいを確認し、ワークシートを用いて整理する。 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 2回目の振り返りから「めざす自分」を設定する。</li> <li>② 「妨げ」を予想する。</li> <li>③ 活動計画を立てる。</li> <li>④ 「めざす自分」と具体的な活動とを関連付ける。</li> </ol> </li> <li>3 活動をするグループで作戦を立てる。</li> </ol>   |        | ① | ① | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動</li> <li>・発言</li> <li>・ワークシート</li> <li>・振り返り</li> </ul> |
|                       | やってみる | 3<br>3<br>6 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本時のねらいを確認する。(丸太の切り出し)</li> <li>2 道具の使い方や安全な活動の仕方について確認する。(GT)</li> <li>3 グループごとに活動を行う。(困ったことがあったら、周りの大人に質問する)</li> <li>4 せどやま市場へ行き、計量後せどやま券を貰う。</li> <li>5 帰校後振り返りを書く。</li> </ol>   | ①<br>② |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・発言</li> <li>・行動</li> </ul>                                 |

|                |       |             |   |   |   |   |  |
|----------------|-------|-------------|---|---|---|---|--|
|                | ふり返る  | 7<br>8      | <p>1 本時のねらいを確認する。</p> <p>2 写真や映像をもとに、活動を客観的に振り返る。</p> <p>3 「めざす自分」及び活動計画に照らし合わせて自己を振り返る。</p> <p>4 交流し、グループで活動の振り返りをする。</p> <p>5 本時のまとめをし、次時への見通しをもつ。</p>  |   | ① |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動</li> <li>・発言</li> <li>・ワークシート</li> <li>・振り返り</li> </ul> |
|                |       | 9           | <p>1 本時のねらいを確認する。</p> <p>2 活動の中で出てきた「せどやま再生事業」についての疑問を白川さんに質問し、解決する。(オークガーデンのボイラー室見学)</p> <p>3 本時のまとめをし、次時への見通しをもつ。</p>   |   |   | ① | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動</li> <li>・発言</li> <li>・ワークシート</li> <li>・振り返り</li> </ul> |
| 4<br>まとめて発信しよう | えがく   | 1           | <p>1 「せどやま教室」を振り返り、たくさんの方に協力して頂いたことを思い出す。(事前準備、活動中、事後の作業の写真を見る)</p> <p>2 本節の内容及びねらいを確認する。(お世話になった方に感謝の気持ちを伝えるために、「感謝の会」を開く)</p> <p>3 「感謝の会」の計画を立てる。</p>   |   | ① | ① | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動</li> <li>・発言</li> <li>・ワークシート</li> <li>・振り返り</li> </ul> |
|                |       | 2           | <p>1 本時のねらいを確認する。(感謝の会で発表するために1節から3節の活動を振り返る)</p> <p>2 写真や映像をもとに、学び方を振り返る(わからなかった時の解決の仕方等)。</p> <p>3 「めざす自分」及び活動計画に照らし合わせて、単元全体を通しての自己を振り返る。</p> <p>4 交流する。</p> <p>5 本時のまとめをし、今後の学習や生活にどのように生かすのか考える。</p> |   |   | ① | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動</li> <li>・発言</li> <li>・ワークシート</li> <li>・振り返り</li> </ul> |
|                |       | 3<br>~<br>5 | <p>1 本時のねらいを確認する。</p> <p>2 前時で振り返った学びや成長を児童が考えた方法でまとめる。</p> <p>3 お世話になった方へ招待状とお礼の手紙を作成する。</p> <p>4 これまで獲得したせどやま券を利用し、お世話になった方をもてなす準備をする。</p>  | ① |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動</li> <li>・発言</li> <li>・ワークシート</li> <li>・振り返り</li> </ul> |
|                | やってみる | 6           | <p>1 本時のねらいを確認する。</p> <p>2 お世話になった方に、学んだことや成長したことを発表する。</p> <p>3 児童が考えた方法で、お世話になった方への感謝の気持ちを伝える。</p>  | ① |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・発言</li> <li>・行動</li> </ul>                                 |
|                | ふり返る  | 7           | <p>1 本時のねらいを確認する。</p> <p>2 写真や映像をもとに、感謝の会を振り返る。</p> <p>3 交流する。</p> <p>4 本時のまとめをする。</p>  |   |   | ① | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動</li> <li>・発言</li> <li>・ワークシート</li> <li>・振り返り</li> </ul> |

## 8 本時の展開

### (1) 目標

クラス目標を達成するために次回の班の作戦を立て、実行しようとすることができる。

(主体的に学習に取り組む態度)【意志力】

### (2) 評価規準

クラスの目標を達成するための班の作戦を考え、実行しようとしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

### (3) 学習の展開

| 学習活動（・予想される児童の反応）  | ○指導上の留意事項<br>●個に応じた支援  | 評価規準<br>(評価方法)   |
|--|--|--|
| <p>1 本時のめあてを確認する。</p>  | <p>○前時の活動の振り返りを本時のめあてにつなげる。<br/>○写真を用いることで、その時の気持ち等も想起しやすくする。</p>  |  |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     たくさんの木を運び出すために、グループの作戦を立てよう。                 </div>  |  |  |
| <p>2 1回目の活動の振り返りの中から、めあての達成につながりそうなことを発表し合う。</p> <p><b>【技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きい木を切ったり運んだりすることが難しかった。</li> <li>・細い木を選んで切ると早く切ることができる。</li> </ul> <p><b>【協働】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協力して木を切った。</li> <li>・チーム関係なく協力し合うとよい。</li> </ul> <p><b>【安心・安全】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木を転がす方向に足があった。</li> <li>・1人で行動する人がいた。</li> </ul> | <p>○発表内容を、技術、協働、安心・安全について分けながら、各班ごとに整理して板書する。<br/>○自分の振り返りの中から、作戦を立てるためのヒントになりそうなこと3つに線を引いてから発表させる。<br/>●どれにするのか迷っている場合には、事前に把握している良い考えを価値付ける助言をする。<br/>○児童が出した意見をつないで、作戦を立てるときの参考にできるようにする。</p> |  |
| <p>3 班で作戦を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運びやすそうな木を選んで切る。</li> <li>・分担して作業する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>   | <p>○クラス目標を達成するために作戦を立てることを確認する。<br/>○交流した振り返りをもとに作戦を考えさせる。<br/>●話し合いに参加できない場合は、「～さんの考えについてどう思う?」、「どんなアイデアを考えたの?」等の助言をする。</p>   | <p>・クラスの目標を達成するための班の作戦を考え実行しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】(ワークシート・行動観察)</p> |



|   |   |  |
|---|---|--|
| <p>4 決めた作戦を学級で共有する。<br/>「僕たちの班は、～しようと思います。」</p> | <p>○決めた作戦を価値付け, 次時への意欲を喚起する。</p>                      |  |
| <p>5 本時を振り返り, 次時の見通しをもつ。</p>                    | <p>○次時は, 決めた作戦をもとにめざす自分を設定するということを伝えてから振り返りを書かせる。</p> |  |

## 9 板書計画

10/6 せどやま教室 目標 安全に, たくさんの木 (500 kg以上) を運び出す。

めあて たくさんの木を運び出すために, グループの作戦を立てよう。

|        |  |  |   |            |
|--------|--|--|---|------------|
|        | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">技術</span> | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">協働</span> | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">安心・安全</span> |            |
| 一<br>班 | ・大きい木…切る,<br>運ぶ <sup>⑧</sup>                                   | ・協力して木を切<br>った。  | ・木を転がす方に<br>足があった。  | 班の目標<br>1班 |
|        |  |  |   |            |
| 二<br>班 | ・細い木…早く切<br>ることができる。   | ・チーム関係なく<br>協力   | ・分担して作業を<br>する。   | 班の目標<br>2班 |